山口大学医学部附属病院

放射線科

最先端の画像診断から IVR による低侵襲治療まで

画像診断：

研修医のみなさんの希望に応じて，急性期の一般画像診断を幅広く学ぶことから，頭部・胸部・腹部・骨軟部といった専門領域に特化した画像診断を重点的に修得することまで，柔軟に選択することができます。

Interventional Radiology (IVR)：

当科では，診断から治療まで，血管系・非血管系 IVR を含む幅広い領域をカバーしており，希望者は助手として，症例によっては術者として参加することが可能です。





【 教授からのコメント 】



放射線科研修トレーニングの最も大きな特色は，過去 20 年間にわたって蓄積された臨床画像症例を瞬時に呼び出せる画像読影システムを利用して，時間を越えて（過去にさかのぼって），重要症例の読影トレーニングをいつでも行えることで，研修医の“経験値”を短期間で格段に高めることができます。臨床現場や学会発表においても若手放射線科医が活躍できるのもこのような背景があるものと思います。

【 研修目標 】

① 画像診断の基本的知識と読影法を身につける。
② 当直で必要となる急性期疾患の診断ができるようになる。
③ IVR の基本的手技を修得する。

【 研修内容・研修スケジュール例 】

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat/Sun
画像診断 IVR カンファ	画像診断 IVR	画像診断 症例カンファ	画像診断	画像診断 症例カンファ	Free

【 指導医からのコメント 】

CT・MRI をはじめとする画像診断機器の進歩により，各種疾患の診断能は飛躍的に向上しています。現在では，画像診断を欠いた正確な診断は事実上困難と言えます。
当科では，最先端の画像技術を活用し，各領域の専門医が全身の多様な疾患の診断を行っています。
充実した研修カリキュラムをご用意して，みなさんの参加をお待ちしています。

【 先輩（若手医師）からのコメント 】

私は臨床初期研修 2 年目の選択期間に放射線科を選択し，画像診断の面白さにひかれて入局しました。選択したきっかけは，1 年目の外病院当直やカンファレンス前に，あまりにも画像が読めないので，「どうにかしなくては！」と痛感したことです。
放射線科をまわってみると，先生方がとてもやさしく，質問すると必ず丁寧に教えてくださるため，自然と勉強したいという意欲がわいてきました。大学には各領域のスペシャリストの先生方がいらっしゃるので，本だけでは学べない多くのことを吸収できます。
少しでも興味を持った方，画像を読むことに不安や抵抗がある方は，ぜひ放射線科を選択してみてください。





【 お問い合わせ先 】

山口大学大学院医学系研究科 放射線医学　　担当：田辺昌寛（医局長）
Tel/Fax：0836-22-2285
E-mail：radiants@yamaguchi-u.ac.jp
Website：http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~radiants/